

幸 せ な 人 は 周 り の 人 ま で 幸 せ に で き る

**Whoever is happy will make others happy too.**

————— Anne Frank —————

**SDGs**

**促進ファンド**

---

追加型投信 / 国内 / 株式

**幸**

S A C H I

**PRESENTATION  
OVERVIEW**

**SDGs**  
促進ファンド

追加型投信 / 国内 / 株式



**1**  
POINT

提言の背景

**2**  
POINT

自己実現している  
企業の重要性

**3**  
POINT

提言の内容

**4**  
POINT

今後の展望

**PRESENTATION  
OVERVIEW**

**SDGs**  
促進ファンド  
追加型投信 / 国内 / 株式



**1**  
POINT

提言の背景

**2**  
POINT

自己実現している  
企業の重要性

**3**  
POINT

提言の内容

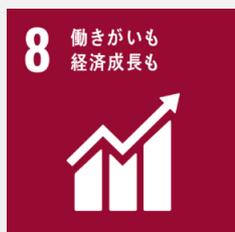
**4**  
POINT

今後の展望

## 本提言の目的

SDGs 実現を  
加速させる

# SDGsとは



## SDGsとは

持続可能な社会の実現を目指し

国連サミットで採択された**17**の目標

## SDGsとは

2030年までに

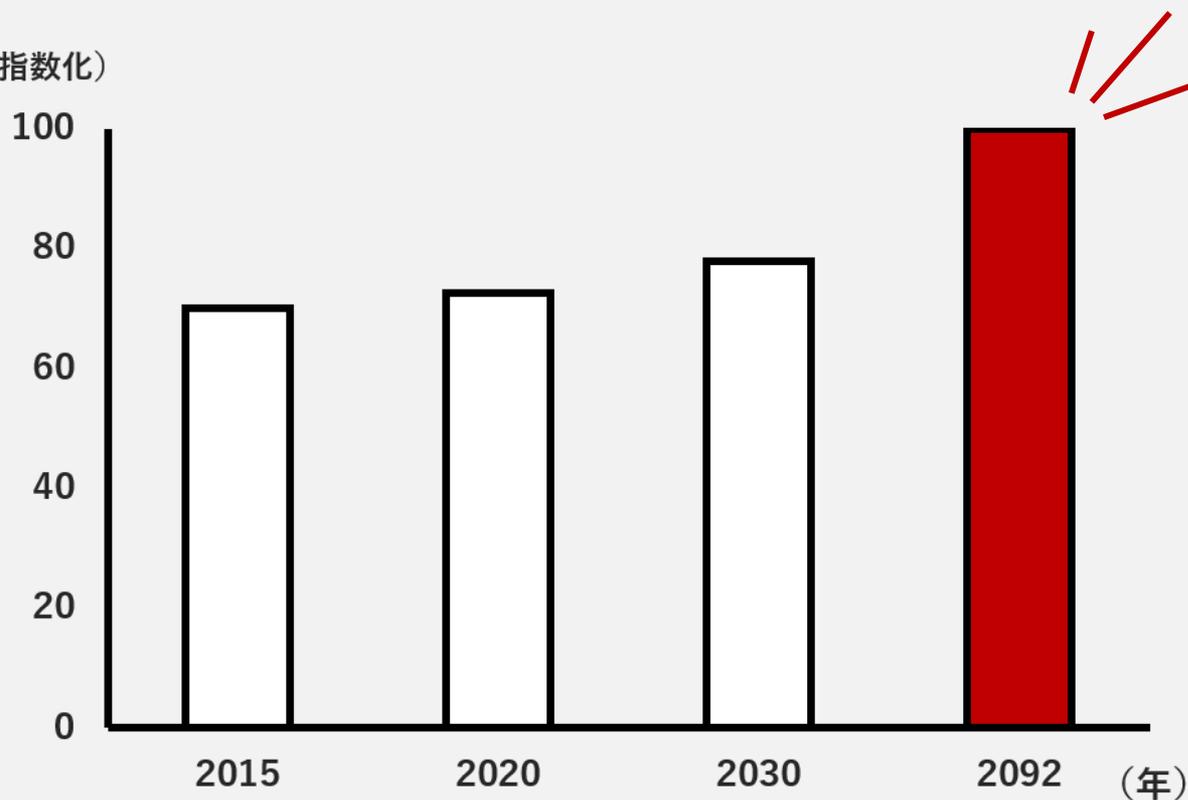
17項目の目標を達成すべく

ユニバーサルな取り組みが進んでいる

+62

# SDGs実現までの見通し

(SDGs達成度を指数化)



出所：日経新聞（2020）「SDGs達成は2092年？NPO警告 国際評価に影響も」より筆者作成

※SDGsの達成度合いを指数化し、全ての国が達成した場合を100とする。

# SDGs実現までの見通し

(SDGs達成度を指数化)



出所：日経新聞（2020）「SDGs達成は2092年？NPO警告 国際評価に影響も」より筆者作成

※SDGsの達成度合いを指数化し、全ての国が達成した場合を100とする。

# SDGsと企業の関わり

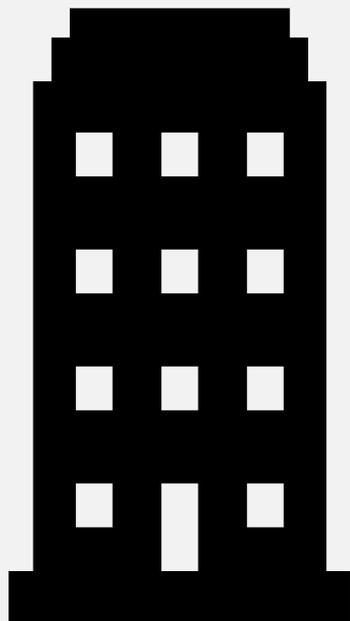


元国連事務総長  
潘基文氏

企業はSDGsを達成する上で  
重要なパートナーである

企業は、それぞれの中核的な事業を通じて  
これに貢献することができる

# SDGsと企業の関わり



経済産業省  
ご担当者様

SDGsの実現に向けて  
企業の効果的な取り組みが  
必要不可欠である

SDGsの早急な実現に向けて  
SDGsの本質に  
向き合うべきである

# SDGsと企業の関わり

SDGsの実現に向けて

企業の効果的な取り組みが

必要不可欠である

SDGsの早急な実現に向けて

企業が果たす役割は

非常に大きい

SDGの早急な実現に向けて

SDGsの本質に

向き合うべきである

経済産業省

ご担当者様

# SDGsの本質とは



# SDGsの本質とは

1 貧困をなくそう

2 飢餓をゼロに

3 すべての人に健康と福祉を

4 質の高い教育をみんなに

5 ジェンダー平等を実現しよう

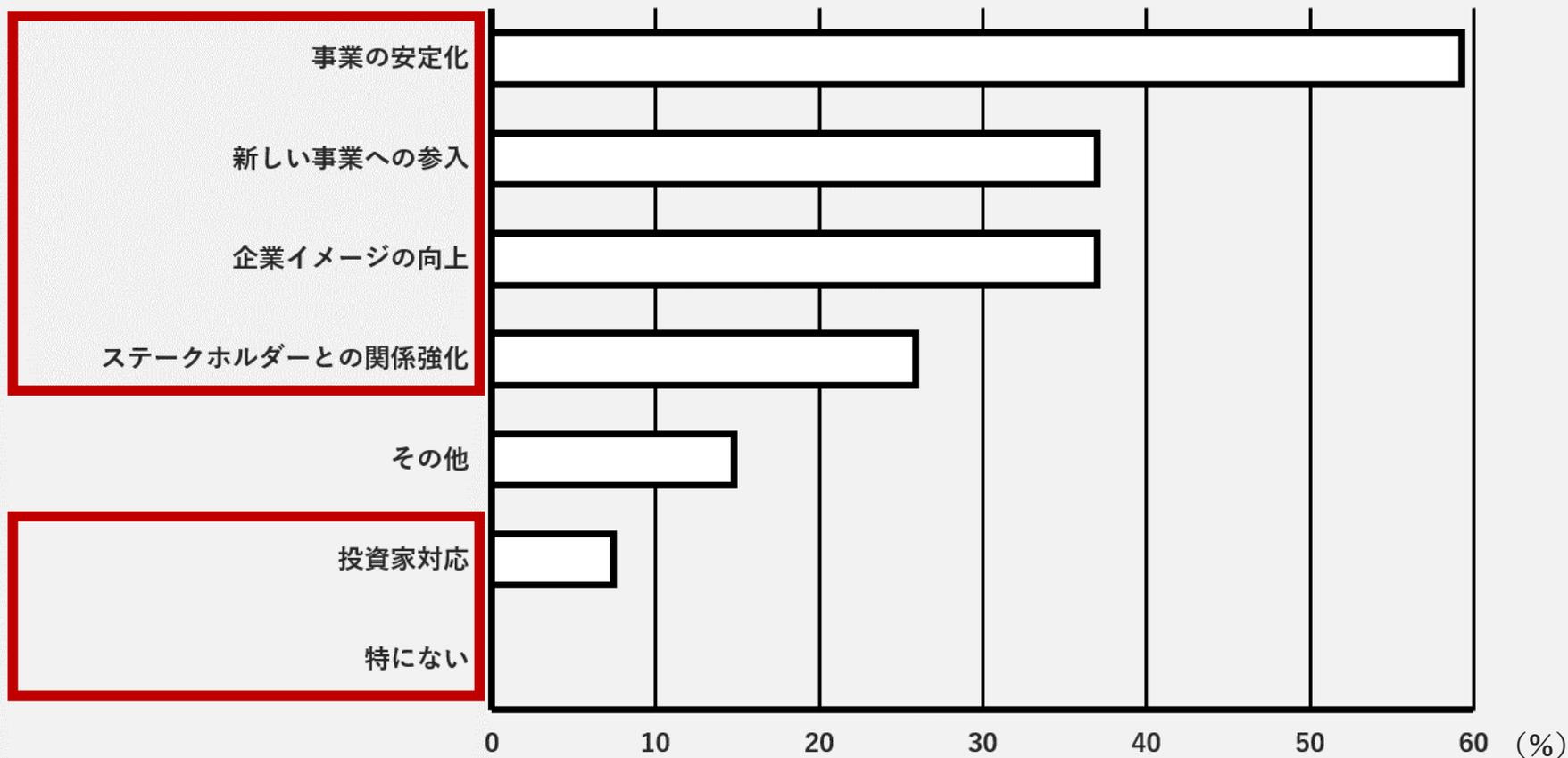
6 安全な水とトイレを世界中に

全ての目標の根本には

“社会に貢献したい”という

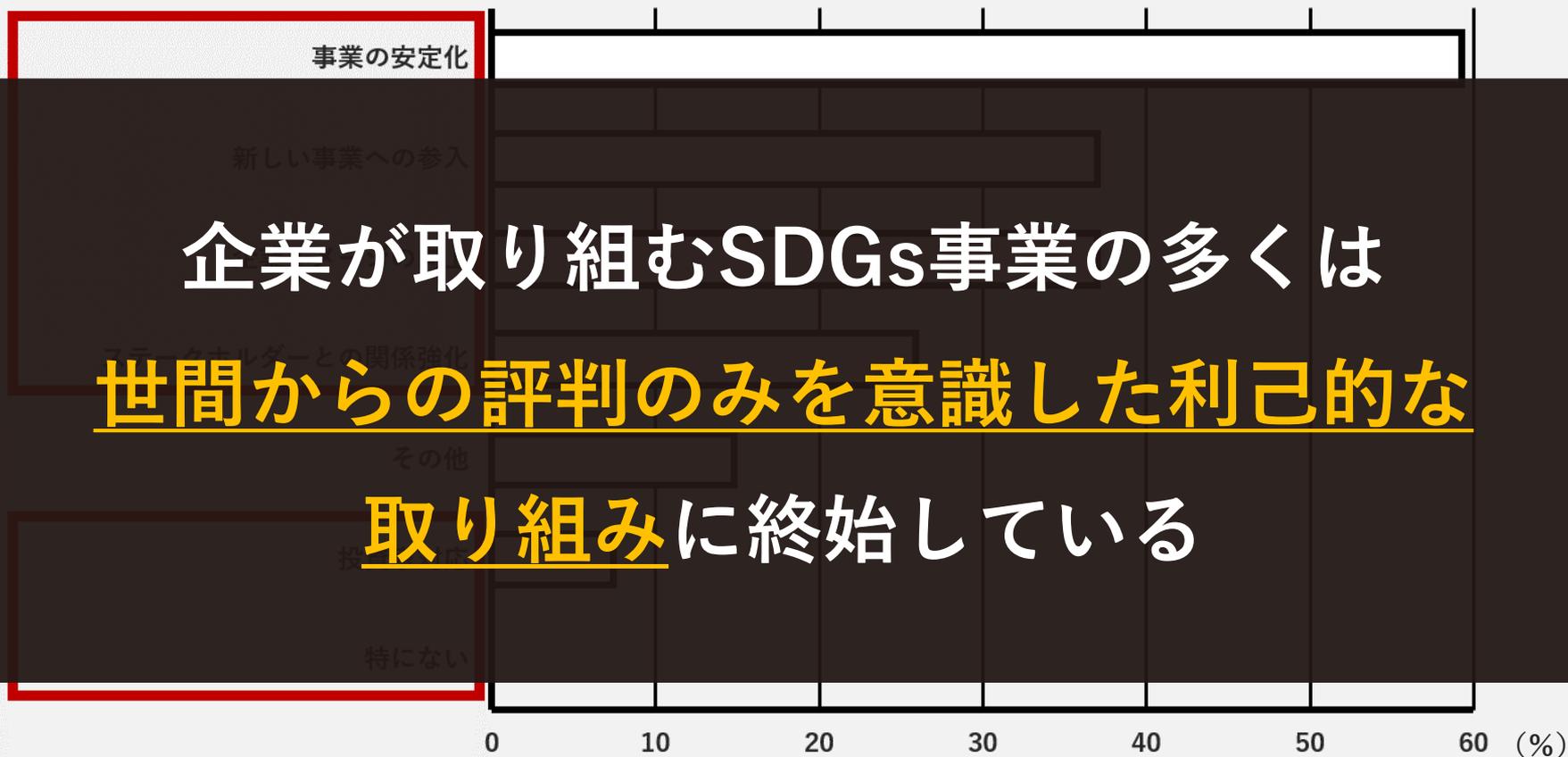
人々の利他的な想いがある

# SDGsに対する企業の認識



出所：株式会社ベイニッチ「経営者のSDGs導入に関する調査」より筆者作成

# SDGsに対する企業の認識



出所：株式会社ベイニッチ「経営者のSDGs導入に関する調査」より筆者作成

## 背景のまとめ

1

SDGsの進捗に  
大幅な遅れ

2

SDGsの実現に  
企業が大きな責任を  
背負う

3

企業のSDGs事業は  
その多くが  
形骸化している

## 背景のまとめ

1

2

3

企業が本質的なSDGsと  
真摯に向き合い、SDGsの早急な実現を  
果たすための提言を行う

# PRESENTATION

## OVERVIEW

**SDGs**  
促進ファンド

追加型投信 / 国内 / 株式



**1**  
POINT

提言の背景

**2**  
POINT

自己実現している  
企業の重要性

**3**  
POINT

提言の内容

**4**  
POINT

今後の展望

どのような企業がSDGsの実現に寄与できるのだろうか？

# 企業がSDGsを促進するためには

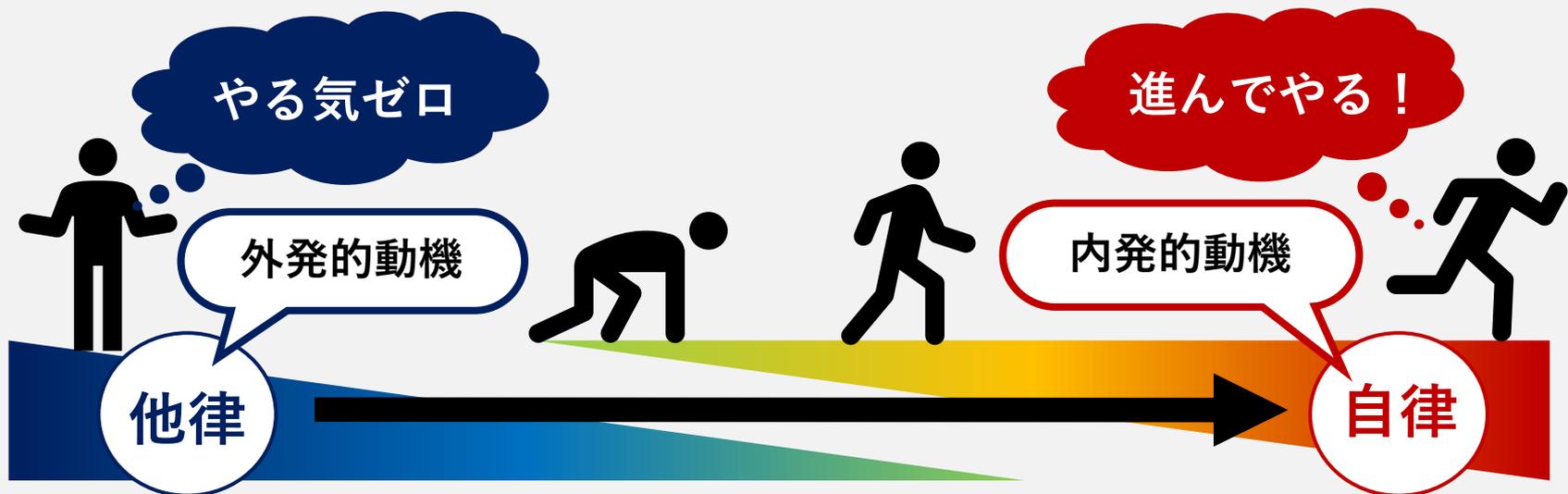


# 企業がSDGsを促進するためには



# 自己決定理論 Deci and Ryan(1985)

行動に対する興味・関心・意欲の高さが  
当人のパフォーマンス・持続性に  
影響を及ぼす基本的心理欲求理論



# 自己決定理論 Deci and Ryan(1985)

行動に対する興味・関心・意欲の高さが  
当人のパフォーマンス・持続性に  
SDGsへの取り組みについても

自律的である方が

そのパフォーマンスは向上すると考えられる



# 企業がSDGsを促進するためには



# SDGsの本質とは

1 貧困を  
なくす

2 飢餓を  
なくす

3 すべての人に  
健康と福祉を

4 質の高い教育を  
みんなに

5 ジェンダー平等を  
実現しよう

6 安全な水とトイレ  
を世界中に

全ての目標の根本には

“社会に貢献したい”という

人々の利他的な想いがある

# SDGsの本質とは

1 貧困を  
なくす

2 飢餓を  
なくす

3 すべての人に  
健康と福祉を

4 質の高い教育を  
みんなに

5 ジェンダー平等を  
実現しよう

6 安全な水とトイレ  
を世界中に

利他性の高い企業ほど

SDGsへの取り組みを自律的に

行うことができ、SDGs実現を促進できる



Anne Frank

1929—1945

“ 幸せな人は

周りの人まで幸せにしてしまう ”



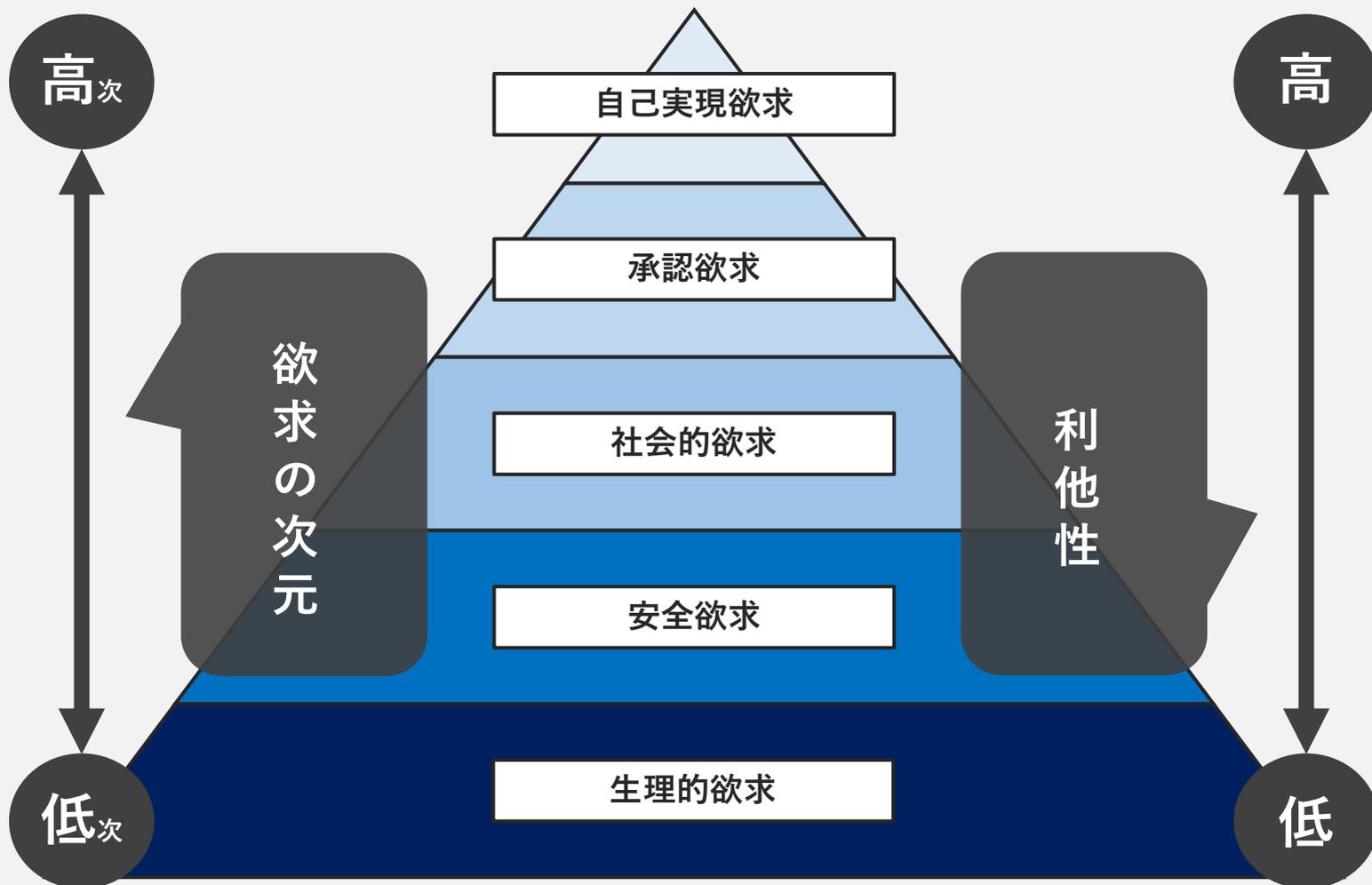
“幸せな人は  
周りの人まで幸せにしてしまう”

利他性を高めるためには  
自身が満たされている必要がある

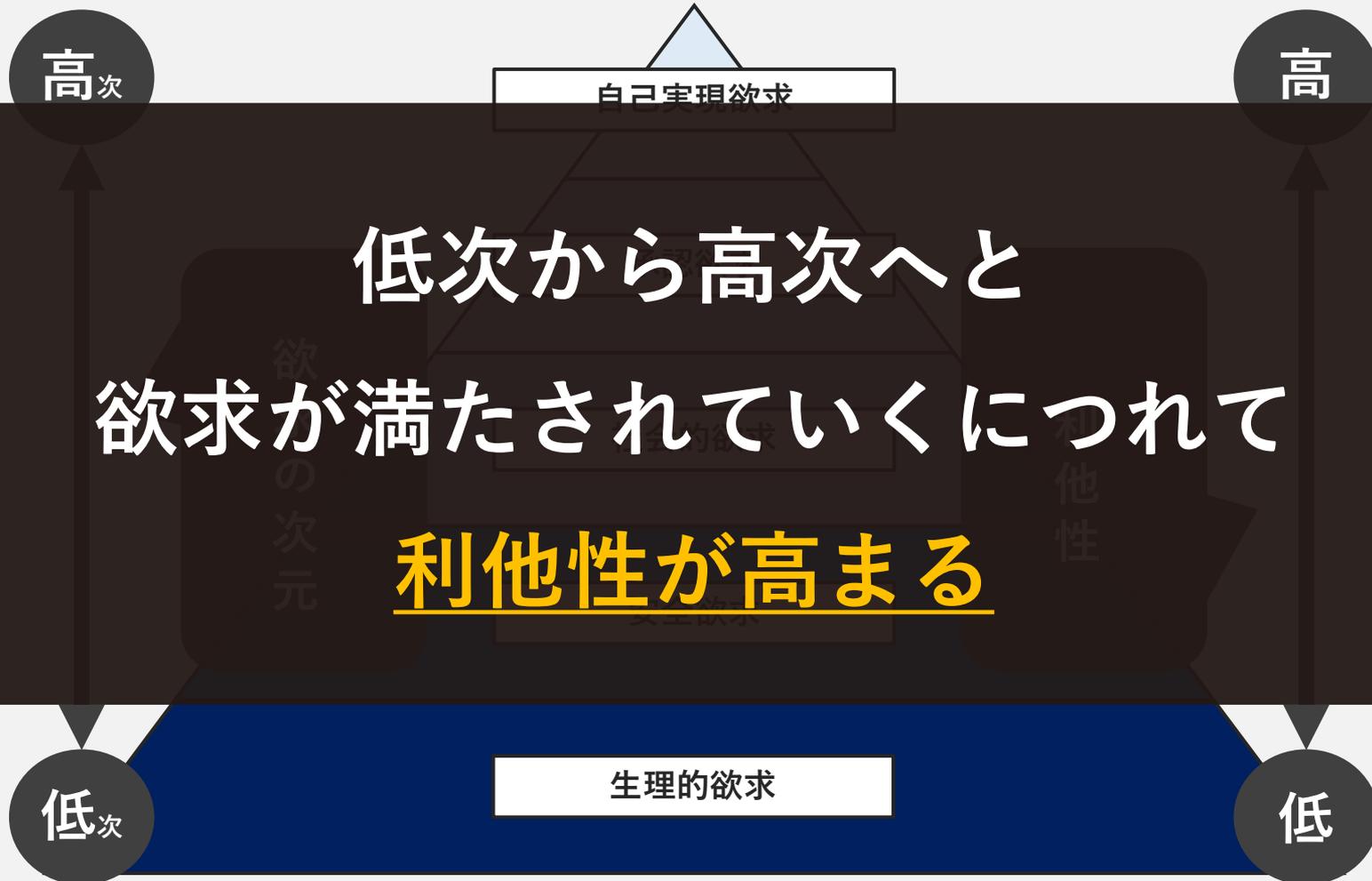
Anne Frank

1929—1945

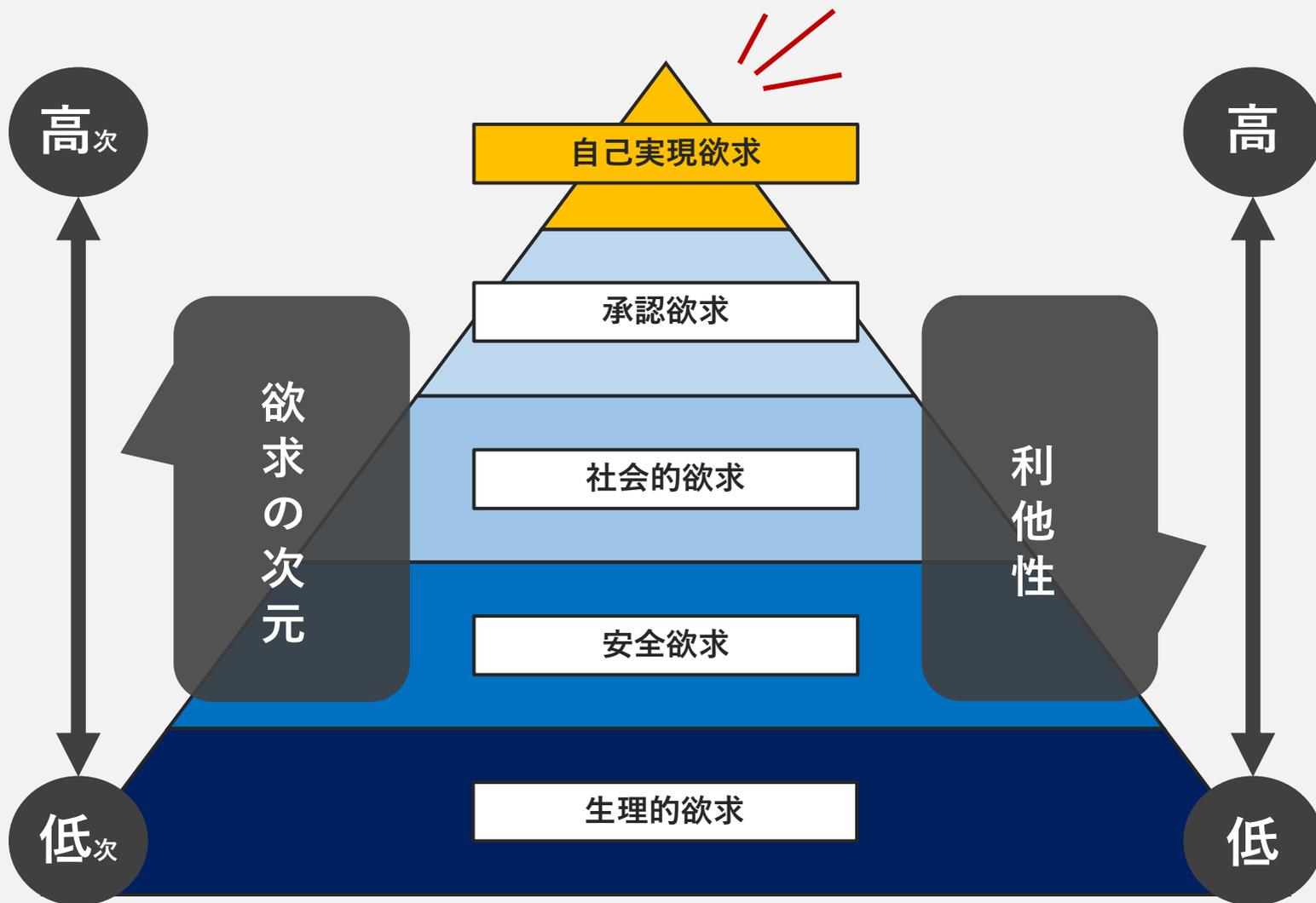
# 自己実現理論



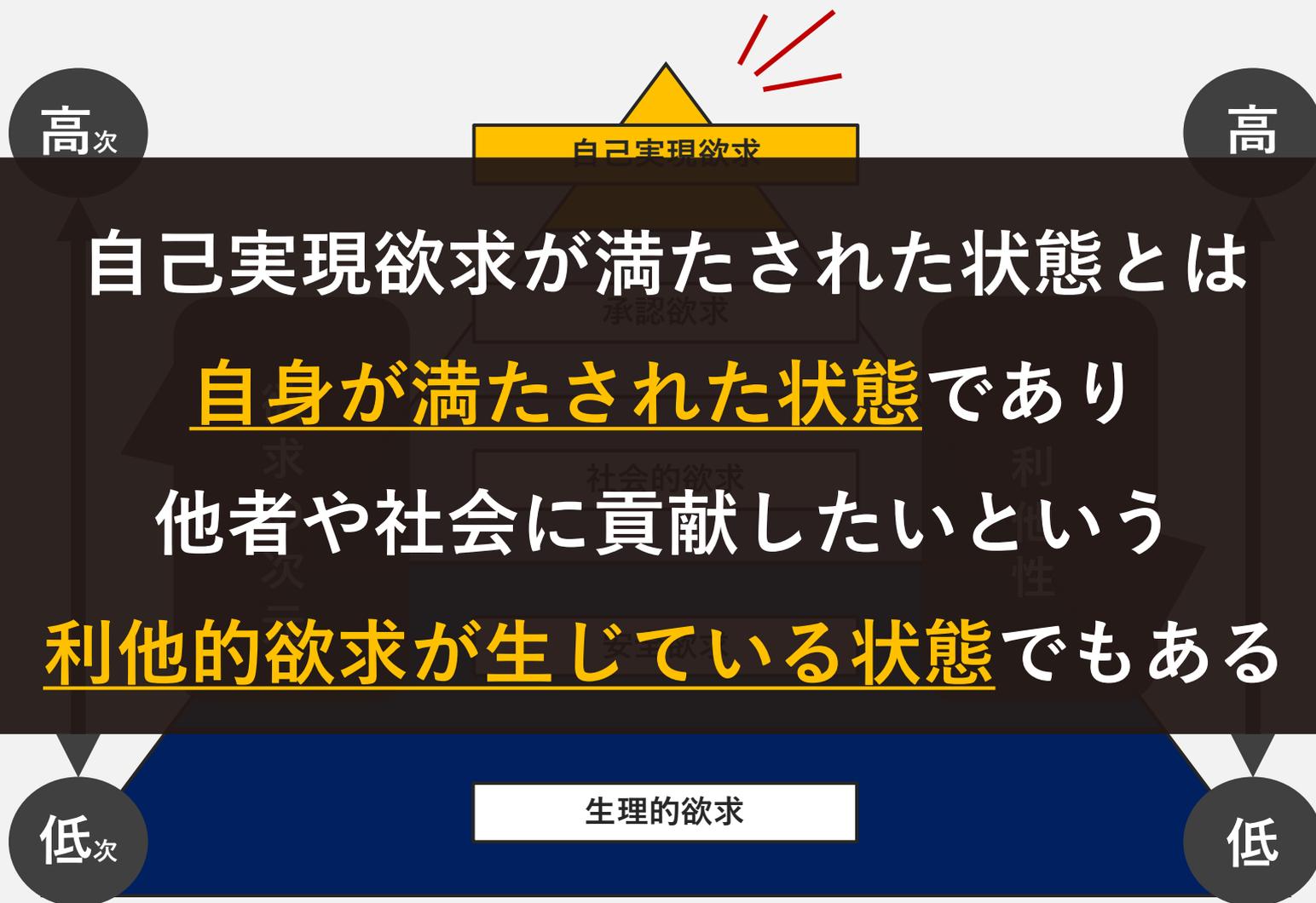
# 自己実現理論



# 自己実現理論



# 自己実現理論



## 我々の仮説

企業内部の主体が自己実現している企業は  
利他性が高く、自律的にSDGsに取り組むことが  
できるのでSDGs実現を促進できる

**PRESENTATION  
OVERVIEW**

**SDGs**  
促進ファンド

追加型投信 / 国内 / 株式



**1**  
POINT

提言の背景

**2**  
POINT

自己実現している  
企業の重要性

**3**  
POINT

提言の内容

**4**  
POINT

今後の展望

**SDGs**

**促進ファンド**

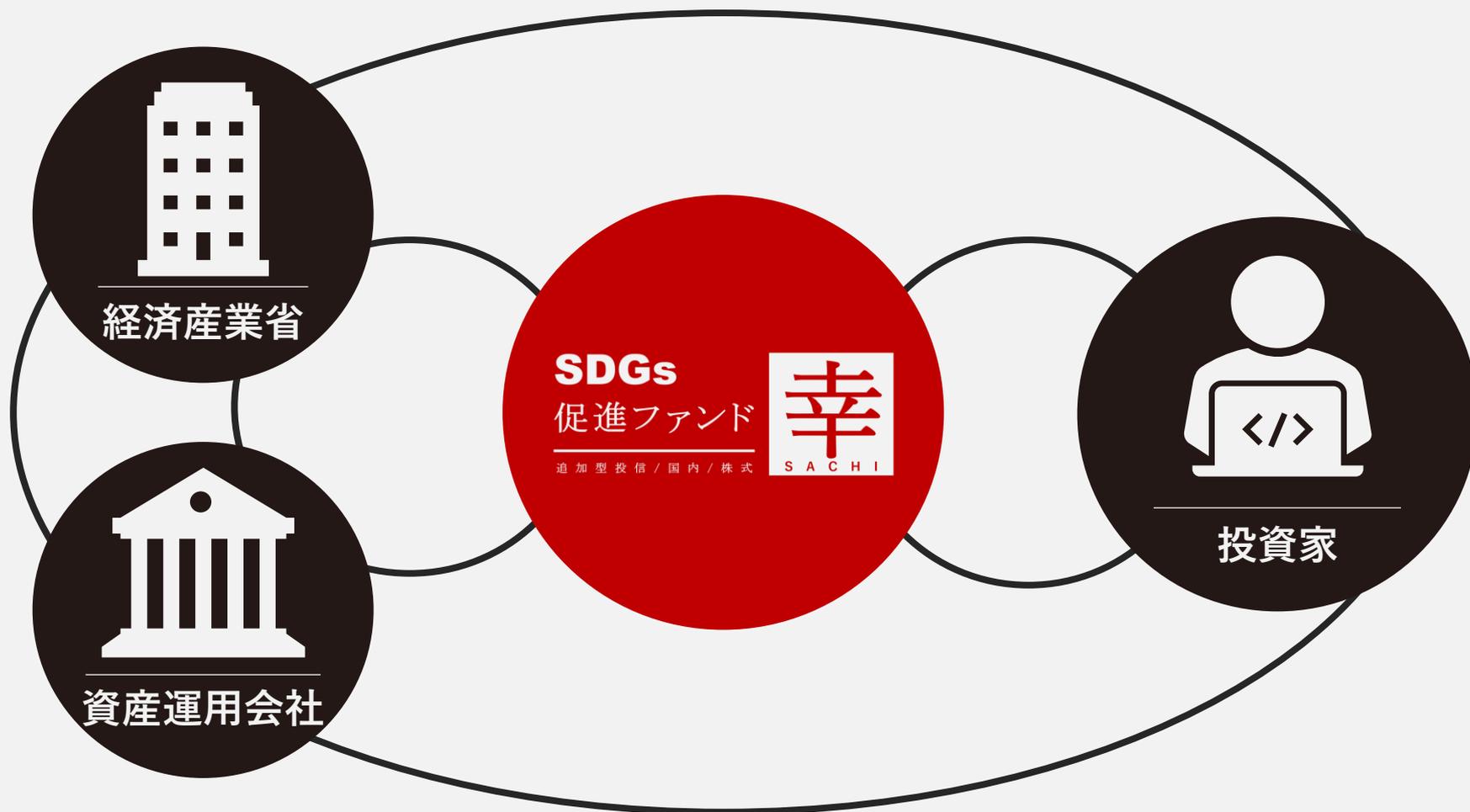
---

追加型投信 / 国内 / 株式

**幸**

S A C H I

# 提言の概要



# 提言の概要



経済産業省と  
資産運用会社が  
共同で当ファンドを  
構築・運用する

# 提言の概要

投資家は

投資額・運用成績に応じた

分配金を受け取る一方で

選定企業には

投資家からの投資資金が

流入する

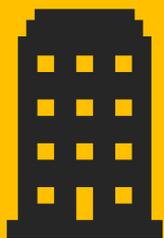
SDGs  
促進ファンド

追加型投信 / 国内 / 株式



投資家

# 提言の概要



経済産業省



資産運用会社

公的機関が起点となり

SDGs実現に向けた

企業の取り組みを

後押しすることで

アナウンスメント効果を発揮する



投資家

# 本提言が如何にしてSDGs実現に寄与するのか

1

資金調達の  
下支え

2

アナウンスメント  
効果

# 本提言が如何にしてSDGs実現に寄与するのか

1

資金調達の  
下支え

2

アナウンスメント  
効果

## SDGs事業と資金



UNCTAD

SDGsの達成には先進国と途上国の資金需要を合わせて毎年5兆～7兆ドル、途上国のみでは毎年3.3兆～4.5兆ドルの資金が必要とされ、年間1兆ドルと見込まれる各国政府の拠出できる資金のみでは年間2.5兆ドルが不足する。2020年の民間投資はコロナウイルス流行のため前年度よりも大きく落ち込む見通しであり、SDGsの各目標達成のため、各分野において資金が不足する。

# SDGs事業と資金

SDGsの達成には先進国と途上国の資金

需要を合わせて毎年5兆～7兆ドル、途上

国のみでは毎年3.3兆～4.5兆ドルの資金

が必要と見込まれ、年間1兆ドルと見込まれ

る資金のみでは年

間2.5兆ドルが不足する。2020年の民間

投資は前年度

よりも大きく落ち込む見通しであり、

SDGsの各目標達成のため、各分野にお

いて資金が不足する。

SDGsの実現に向けて

政府・投資家からの

資金面での後押しが必要不可欠

UNCTAD

# 資金調達の下支え



分配金



投資



当ファンドへの投資が集まることは  
選定企業の資金調達を下支えすることに繋がる

## 資金調達の下支え

分配金

当ファンドに投資が集まることは  
選定企業の資金調達を下支えする点で  
SDGs実現に寄与する

当ファンドへの投資が集まることは  
選定企業の資金調達を下支えすることに繋がる

# 本提言が如何にしてSDGs実現に寄与するのか

1

資金調達の  
下支え

2

アナウンスメント  
効果

## アナウンスメント効果

ニュースや政府の広報の結果  
人々の行動に変化が起こること



SDGsの実現には「利他性・自律性」が重要であることを

政府がアナウンスすることによって

本質的なSDGsに関する認知が拡大する

# ファンド策定までの流れ

1

投資対象銘柄の  
選定

2

選定銘柄の  
投資比率決定

3

選定企業への  
ヒアリング調査

# ファンド策定までの流れ



# 企業構成員の主体分類

## 企業の意思決定に関わる3主体

### 従業員

経営陣が下した  
経営方針のもと  
業務遂行にあたる  
という役割

### 経営陣

株主から委託される形で  
組織としての意思決定を  
行うという役割

### 株主

出資者として企業を  
保有するという役割

# スクリーニング概要

欲求	本来の定義	従業員の 欲求充足条件	経営陣の 欲求充足条件	株主の 欲求充足条件
生理的	生存に必要不可欠な要素を欠きたくない	従業員が従業員として存続できること	経営陣が経営陣として存続できること	株主が株主として存続できること
安全	危機を回避して安心・安全でいたい	健康・雇用が阻害されないこと	企業の存続が阻害されないこと	株式保有が阻害されないこと
社会的	集団に所属し、人々と愛情に満ちた関係でいたい	企業に対して所属意識と愛着を持てる環境があること	社会に対して所属意識と愛着を持っていること	企業に対して所属意識と愛着を持てる環境があること
承認	安定的で確固とした根拠に基づいて高く評価されたい	企業内制度に基づき所属企業から高い評価を受けること	企業外組織が定める基準に基づき高い評価を受けること	投資先企業が設ける規定に基づいて企業経営に参画できること
自己実現	自分に最も適した達成すべき活動を見つけ自分の可能性を發揮したい	自身の可能性が發揮しやすい環境があること	経営理念が企業全体に浸透し確立されたうえで経営を行うこと	投資を通じてその企業の成長に寄与すること

# スクリーニング概要

欲求	本来の定義	従業員の 欲求充足条件	経営陣の 欲求充足条件	株主の 欲求充足条件
----	-------	----------------	----------------	---------------

Maslowの欲求階層説で定義されている

「一般的な人間の欲求とその充足条件」を

従業員・経営陣・株主という

**「企業の構成主体の欲求とその充足条件」に再定義**

自己実現	自分に最も適した達成すべき活動を見つけ自分の可能性を發揮したい	自身の可能性が發揮しやすい環境があること	経営理念が企業全体に浸透し確立されたうえで経営を行うこと	投資を通じてその企業の成長に寄与すること
------	---------------------------------	----------------------	------------------------------	----------------------

# スクリーニング項目

	従業員	経営陣	株主
生理的	Altman Z score モデル		
安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>労働災害度数率</li> <li>ハラスメント防止対策の有無</li> <li>入社3年後離職率</li> <li>平均勤続年数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リスク管理体制の有無</li> <li>BCP策定の有無</li> <li>BCP想定項目数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ソルティノレシオ</li> <li>ボラティリティ</li> <li>TSR（株主総利回り）</li> </ul>
社会的	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な人材登用促進の専任部署の有無</li> <li>SO制度の有無</li> <li>社内コミュニケーション促進に向けた取り組みの有無</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ESG開示スコア</li> <li>地域イベントへの参加</li> <li>国連グローバルコンパクト参加の有無</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>株主優待の有無</li> <li>株主通信の有無</li> <li>投資家向け説明会の有無</li> </ul>
承認	<ul style="list-style-type: none"> <li>社員評価の項目数</li> <li>能力/業績評価基準/結果の公表</li> <li>特別な成果に対する表彰/報酬制度の有無</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>CSR評価の点数</li> <li>公的機関からの表彰歴の有無</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社外取締役の選任数</li> <li>株主アンケート実施の有無</li> <li>投資家への訪問の有無</li> </ul>
自己実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>社内公募制/FA制の有無</li> <li>キャリアアップ支援制度の有無</li> <li>自律型の目標管理制度の有無</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営理念浸透策</li> <li>投資の一貫性（設備投資額/減価償却費）</li> <li>KPI・KGI設定の有無</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ROE</li> <li>EPS</li> </ul>

# スクリーニング項目

	従業員	経営陣	株主
--	-----	-----	----

生理的

Altman Z score モデル

40000項目に及ぶ徹底したリサーチを行い

SDGs実現への寄与度が高い銘柄を選定し

**ポートフォリオを構築**

自己実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>社内公募制/FA制の有無</li> <li>キャリアアップ支援制度の有無</li> <li>自律型の目標管理制度の有無</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営理念浸透策</li> <li>投資の一貫性 (設備投資額/減価償却費)</li> <li>KPI・KGI設定の有無</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ROE</li> <li>EPS</li> </ul>
------	---	---	--

# スクリーニング結果

日本企業 4066社

1<sup>st</sup> Sc : Z score

生理的欲求 2612社

2<sup>nd</sup> Sc : TEISEI i

安全欲求 1123社

3<sup>rd</sup> Sc : TEISEI ii

社会的欲求 459社

4<sup>th</sup> Sc : TEISEI iii

承認欲求 104社

5<sup>th</sup> Sc : TEISEI iv

自己実現欲求 42社

“幸”企業

# スクリーニング結果

日本企業 4066社

生理的欲求 2612社

安全欲求 日本企業4066社から

利他的・自律的にSDGs事業に取り組む

承認欲求 42社を選定した

自己実現欲求 42社

“幸”企業

# ファンド策定までの流れ

1

投資対象銘柄の  
選定

2

選定銘柄の  
投資比率決定

3

選定企業への  
ヒアリング調査

# 当ファンドの投資比率決定手法

## 投資比率の主な決定手法

### 効率的 フロンティア

分散投資を実施するにあたり、投資家が同じリスクで最大のリターンが得られる（または同じリターンで最小のリスクとなる）ポートフォリオの集合のこと

### リスクパリティ 戦略

ポートフォリオに占める各資産の価格変動率の大きさに注目し、市場の動きに合わせて組み入れ比率を変更することで、各資産のリスクの割合が均等になるように資産を保有する運用手法

### 定性配分

スクリーニング時に用いた  
定性指標の総合スコアに  
基づく投資配分法

# 当ファンドの投資比率決定手法

## 投資比率の主な決定手法

当ファンドの最大の目的は

SDGs実現に寄与する企業を

投資の側面から後押しすることであるため

定性配分を採用した

することで、各資産のリスクの割合が均等になるように資産を保有する運用手法

分散投資を実施することにより、投資リスクが分散され、リスクを減らすことにより、ポートフォリオのリスクを最小化する（または同じリスクで最大のリターンが得られる）ポートフォリオの集合のこと

スクリーニング時に用いた定性指標の総合スコアに基づく投資配分法

# 選定企業42社

銘柄	配分	銘柄	配分	銘柄	配分
建設A	0.029	商社A	0.025	電機機器G	0.023
食料品A	0.028	建設E	0.024	医薬品B	0.023
食料品B	0.026	食料品D	0.024	サービスA	0.023
医薬品A	0.026	食料品E	0.024	ガラス セラミックスB	0.023
建設B	0.025	食料品F	0.024	輸送用機器A	0.023
建設C	0.025	化学A	0.024	印刷関連A	0.023
ガラス セラミックスA	0.025	精密機器A	0.024	陸運A	0.023
電機機器A	0.025	機械B	0.024	サービスB	0.022
情報通信A	0.025	電機機器D	0.024	電機機器H	0.022
建設D	0.025	電機機器E	0.024	自動車A	0.022
食料品C	0.025	電機機器F	0.024	サービスC	0.022
機械A	0.025	化学B	0.024	情報処理A	0.022
電機機器B	0.025	食料品G	0.023	精密機器B	0.021
電機機器C	0.025	情報通信B	0.023	電機機器I	0.020

# ファンド策定までの流れ

1

投資対象銘柄の  
選定

2

選定銘柄の  
投資比率決定

3

選定企業への  
ヒアリング調査

## ヒアリング調査（まとめ）

選定企業においてSDGsの概念は企業理念と統合されており

SDGs実現に向けて自律的に取り組んでいることが分かった



ヒアリング調査にご協力いただいた方々（12社 計24名）

# 当ファンドの魅力

1

リスク  
分析

2

リターン  
分析

3

利他性  
分析

# 当ファンドの魅力

1

リスク  
分析

2

リターン  
分析

3

利他性  
分析

## リスク分析

	SACHI	日経平均株価	TOPIX
標準偏差	18.11	20.58	18.98
VaR	¥2,725,840	¥2,965,267	¥2,832,413

※2011年6月30日から2021年7月6日までの過去10年間のデータ

※保有金額：1000万円/保有期間：1日間/信頼水準：99%/基準日：2021年7月5日

※Bloomberg端末を用いて筆者推計

## リスク分析

	SACHI	日経平均株価	TOPIX
当ファンドは、投資信託のベンチマークと比較して			
<u>投資リスクの低いファンドである</u> ことが分かる			
VaR	¥2,725,840	¥2,965,267	¥2,832,413

※2011年6月30日から2021年7月6日までの過去10年間のデータ

※保有金額：1000万円/保有期間：1日間/信頼水準：99%/基準日：2021年7月5日

※Bloomberg端末を用いて筆者推計

# 当ファンドの魅力

1

リスク  
分析

2

リターン  
分析

3

利他性  
分析

## リターン分析

	SACHI	日経平均株価	TOPIX
平均 リターン	27.96	22.41	18.35
シャープ レシオ	1.06	0.75	0.67

※2011年6月30日から2021年7月6日までの過去10年間のデータ

※Bloomberg端末を用いて筆者推計

## リターン分析

SACHI

日経平均株価

TOPIX

当ファンドは

投資信託のベンチマークや

その他既存のSDGsファンド等と比較して

優れたパフォーマンスを発揮するファンドである

ことが分かる

※2011年6月30日から2021年7月6日までの過去10年間のデータ

※Bloomberg端末を用いて筆者推計

# 当ファンドの魅力

1

リスク  
分析

2

リターン  
分析

3

利他性  
分析

# 利他性分析

岡部 (2017)

人には利他性があり

自分の利益にならなくとも

心のどこかで常に他者のためになることをしたい

という欲求を持っている

# 利他性分析

岡部 (2017)

当ファンドへの投資は地球・社会のためである

SDGs実現を促進することの一助となるので

投資家の利他的な欲求を刺激できる

# 当ファンドの魅力まとめ

1

低リスク

2

高リターン

3

利他性を  
刺激

## 当ファンドの魅力まとめ

1 低リスク・高リターンを実現しながらも  
2 SDGs実現に強く寄与する企業を応援できる  
3 当ファンドは投資家にとって魅力的である

**PRESENTATION  
OVERVIEW**

**SDGs**  
促進ファンド  
追加型投信 / 国内 / 株式



**1**  
POINT

提言の背景

**2**  
POINT

自己実現している  
企業の重要性

**3**  
POINT

提言の内容

**4**  
POINT

今後の展望

## 今後の展望

1

認知拡大

2

継続投資

# 今後の展望

1

認知拡大

2

継続投資

## 当ファンドの認知拡大

年代	認知手段	
10代	SNS	TV
20代		
30代	ポータルサイト	
40代		
50代	新聞	
60代		

出所：「平成30年度 情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査報告書」より筆者作成

# 当ファンドの認知拡大

年代	認知手段	
10代	年代ごとに異なるメディア選好を分析し 効果的な訴求を行う	TV
20代		
30代		
40代		
50代		
60代	新聞	

出所：「平成30年度 情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査報告書」より筆者作成

## 当ファンドの認知拡大

年代	認知手段	
10代	SNS	TV
20代		
30代	ポータルサイト	
40代		
50代	新聞	
60代		

出所：「平成30年度 情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査報告書」より筆者作成

# ポータルサイトでの広告

30～40代の選考メディアはポータルサイトであるため効果的な訴求が可能に



## ミッション

目論見書への認知を  
高めること



## ターゲット

SDGsに興味は持っているが  
投資は行っていない層



## アプローチ

ポータルサイトのTOPページにて  
当ファンドのバナー広告を打ち出す

# SDGs

## 促進ファンド

追加型投信 / 国内 / 株式

# 幸

S A C H I



# 今後の方向性

1

認知拡大

2

継続投資

## 当ファンドへの継続投資

自らの投資が実際にSDGs促進に寄与していることを  
認知できれば当ファンドへのロイヤリティが高まる



寄与度を認知するシステムとして

定期的に選定企業からSDGsへの取り組みを報告する

投資家専用のマイページを作成する

# リアルタイムで限定配信

投資家専用のマイページで  
いつでもどこでも運用情報が確認できる



## ミッション

当ファンドへの  
継続投資を促すこと



## ターゲット

当ファンドの投資家



## アプローチ

投資家専用のマイページを作成し  
リアルタイムで運用情報を発信する

# SDGs 促進ファンド

追加型投信 / 国内 / 株式

幸  
S A C H I



幸せな人は周りの人まで幸せにできる

**Whoever is happy will make others happy too.**

— Anne Frank —

自分のことだけで満足することなく、他者に手を差し伸べることができる。そんな企業がよりよい社会を創ってくれる。私たちはそう信じている。「幸せな企業は幸せな社会を創ることができ。」そんな想いで創ったこのファンドが企業の取り組みの後押しになりますように。あなたの投資から幸せの輪が広がりますように。

**THANK YOU FOR  
LISTENING**